

～ 第6次留萌市総合計画意見交換会 ～

【開催概要】

- 平成28年8月3日(水) 19:30～21:00
- 女性ネットワークるる意見交換会
- 市役所2号会議室

【出席者】

女性ネットワークるる：

村山ゆかり、蔵根倫美、亀口裕子、能登智恵子、越前初恵、杉山由美子

委員：伊端座長、大館副座長

市：佐々木政策調整課主幹、江川政策調整課主査

【資料】

第6次総合計画市民会議(案)たたき台及びパワーポイント印刷資料

【内容】

- ① 座長挨拶
- ② 市民会議案説明
- ③ 意見交換

〔テーマ・市民参加〕

- 計画はいつも素晴らしいものができる。でも、全部の実現は無理。これだけは絶対というものを絞って作ってほしい。
- その計画の進み具合が見えてこない、市民の関心も薄れていく。情報を発信していく、注目されていることが必要。
- 計画の周知仕方がどうなのか。広報に載せたけど見たかという、文字が多いと読まない、高齢者は横文字が入ると拒否。この計画を作ることは大切なことで、市民が知るための方法、分かりやすいものにしていかないと、市民は興味を持たない。
- 「総合計画」というとなんとなく難しい。もっとわかりやすい表現が考えられないか。
- 市民周知のため、掲示板みたいなものを設置し、情報発信の場所を認識してもらう。
- 行政任せのまちというイメージを持っている。人づくり、若い人たちを育て、やっていく人を育てるのも大事だと思う。
- 町内会だけではないが、高齢者がめっちゃくちゃ元気。若い人がなかなか育たない、機会が無いというふうに見ている。
- 働くことが優先され、町内会は後回しになっている時代。時間のある年寄りしか役員にならない。

〔まちの中心・市街地〕

- 留萌の中心部は錦町だと思っている。でも若い人たちは車社会もあって南町や大型店の方なのかなと感じる。大型店の方には市内バスも通っていないので、高齢者にとっては不便。
- この街は何で公共施設が点在しているまちなんだろうと感じた。市民も意外と不満を抱えて住んでいる。
- どこの店に行っても偉そうに売ってやっているって感じ。ホスピタリティは低い。悪循環が最悪の状態にいると思う。商店街のことを悪く言っている人は、今は行っていない人だと思う。
- 商店街の人が中心街ではないと言っているようだが、都市計画マスタープランの見直しが必要になるのではないかな。

〔その他〕

- 健康・福祉・教育の枠から、教育を切り離した方がいいと思う。重たいものが集まり過ぎている。教育は、子育てだけではなく、生涯教育、人づくりも教育だと思う。
- 観光は、滞在型、滞在時間延長のために、見せる場所を中途半端ではなく、大きくお

金をかけてでもやるべき。

- 新しいものだけを生み出すものではなく、今まであきらめてしまった事をもう一度再生してみる、チャレンジしてみるものいいかなと思う。
- 基本的に「港」は基本構想に残したい。